

第 51 回田原本町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

開催日時 令和 8 年 3 月 26 日 10 時 00 分～10 時 30 分

場所 田原本町役場 3 階 301・302 会議室

出席者

(敬称略)

(代)近畿日本鉄道株式会社 天理駅助役 檜尾 佳樹

(代)奈良交通株式会社 乗合事業部経営路線グループ次長 松石 康志

公益社団法人奈良県バス協会 専務理事 岩崎 靖彦

(代)奈良県交通運輸産業労働組合協議会 幹事 杉本 晃男

田原本町老人クラブ連合会 会長 竹村 三良

田原本駅西地区まちづくり協議会 理事長 中西 秀和

国保中央病院 事務部長 江嶋 陸司

(代)奈良県県土マネジメント部リニア・地域交通課 主査 樋口 孝太郎

(代)天理警察署 交通課長 中村 将人

田原本町副町長 工藤 華代 (会長)

田原本町町長公室 公室長 中辻 勇

田原本町健康福祉部 部長 吉田 志保

田原本町産業建設部 部長 田邊 義巳

事務局

田原本町町長公室 企画財政課 課長 合田

田原本町町長公室 企画財政課 課長補佐 三上

田原本町町長公室 企画財政課 堀川

田原本町町長公室 企画財政課 岡田

1. 開会

(事務局)

本日の出席委員は 13 名で、委員総数の過半数が出席しているため、本会議が成立している旨を報告。

2. 会長挨拶

(工藤会長)

令和7年度は、皆様のご協力によりデマンド交通「tawamo（タワモ）」が全町拡大、300円への低料金化、親しみやすいラッピングの導入等によって大きく事業が進展し、利用実績も順調に推移した。令和8年度は、現在の第1次計画の最終年度であり、5年間の成果を評価・検証したうえで、令和9年度からスタートする「第2次田原本町地域公共交通計画」の策定作業に取り組む極めて重要な一年となる。全国的な運転手不足や維持コスト上昇等、環境は厳しいが、これまでの実績を土台として持続可能な交通体系を構築していくため、未来志向の忌憚のないご意見をお願いしたい。

3. 議事

(1) 報告事項「公共交通の利用状況と今後について」

(事務局)

デマンド交通「tawamo（タワモ）」の利用状況と今後の対応について説明。(資料1)

・令和7年10月の全町展開（乗降地点68か所）や低料金化等により、1日平均乗車人数が運行開始当初の約2.4人から、直近の令和8年2月には15.1人（前年同期比約3倍）まで増加し、町民の足として定着した。

・一方で、利用増に伴い午前中を中心に予約が取りづらい課題が発生しているため、利便性維持に向けて令和8年4月より車両を現在の1台から2台体制へと拡充する。併せて、現在紙ベースで行っている運行管理をデジタル化し、配車の迅速化・正確化を図る。

(工藤会長)

令和8年4月から車両を2台体制に拡充するとのことだが、2台目の車両はどのようなものを想定しているか。

(事務局)

田原本町の道路は幅員が狭いため、各乗降地点を回る際に小回りが利くよう、現在稼働しているものと同じ軽の電気自動車を想定している。

(2) 令和8年度事業計画案及び令和8年度予算案について

(事務局)

令和8年度事業計画（案）及び令和8年度予算（案）について説明。(資料2-1・2-2)

・事業計画として、車両2台での運行に加え、第2次計画策定に向けた住民アンケートやパブ

リックコメントの実施等を進め、ハード（車両）・ソフト（システム）・計画の3つを一体として本町の交通を進化させる。

・予算案については、歳入歳出ともに2,482千円を計上。国からの補助金（2,414千円）を受け入れ、全額をデマンド交通運行業務委託料の財源として町へ繰り出す。

（中西委員）

事業概要にある運行業者の「田原本タクシー株式会社」の概況と、資料に車両が「1台」と記載されている点について伺いたい。

（事務局）

同社は町内にあるタクシー事業者3社のうちの1社であり、現在委託して運行をお願いしている。資料の車両数は現在の令和7年度の状況を記載してしまったものであり、4月からは2台体制となる。

《異議なし、原案どおり承認》

4. その他

（事務局）

・田原本タクシー利用料金助成事業の制度見直しについて説明。（資料3）

・利用増とタクシー運賃値上げ等により全額町負担の同事業費が増加しているため、制度の最適化を図る。

・令和8年度からの主な変更点として、交付対象年齢の段階的引き上げ（令和8年度は70歳以上→71歳以上）、助成額の見直し（初乗り750円→500円助成）、交付枚数の増枠（12枚・24枚→36枚）を実施。

・また、運転免許自主返納者には、タクシー助成券ではなくtawamo（タワモ）乗車券36枚を交付することとする。

・令和8年度の委員変更の確認について依頼。

（竹村委員）

デマンド交通は人気で利用者が多いが、相乗りのため時間がかかり、「30分ほど待つことになり結局タクシーを呼んだ」という話も聞く。時間通りに到着できるよう、近い将来、定時定路線でコミュニティバス等を運行する計画はないか。

（事務局）

デマンド交通の導入時にバスとのセット運行も検討し事業者募集も行ったが、運転手不足の課

題から実現に至らなかった。また、町内の道が狭くルートが限られるため、住宅密集地以外をくまなく走ることは難しい。そのため現状はバスを計画から外し、デマンド交通を拡充する方向で考えている。4月からの2台体制により予約が分散し、待ち時間の解消がある程度図れると考えており、まずはこれで様子を見たい。

5. 閉会